

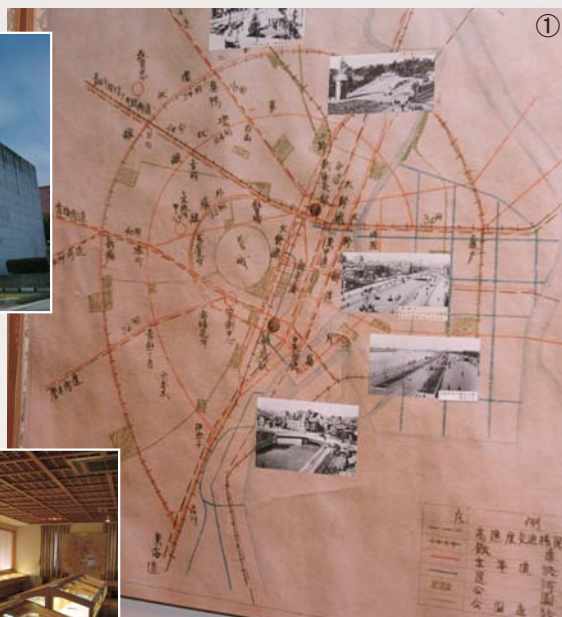
ぶらり

奥州散歩道

Vol. 13

後藤新平記念館

(水沢区大手町四丁目)



①震災後の帝都復興計画図。外周を半円状に走っている線は、現在の環状7号・8号線の原型③東京市政調査会から寄贈された資料を中心に時代順に並べられた展示室



②御影石で仕上げられた外観。録音した新平の肉声を聴けるなど貴重な資料を数万点収蔵



③

50

年先を見通した先見性と、科学的な調査に基づいた大胆な政策で知られる後藤新平。記念館は、多くの分野で功績を残した先人を顕彰しようと、民間からの寄付を基に昭和53年9月に開館しました。台湾総督府民政長官、南満州鉄道初代総裁、内務・外務大臣を歴任するなど華やかな経歴とは裏腹に、簡素かつ重厚な記念館の外観は、生涯無私を通じた新平の生きざまを表しているかのようです。

新平は安政4(1857)年、現在の水沢区吉小路で生まれました。医学を志し、24歳の若さで愛知病院長に。その後ドイツへ自費で留学し、衛生制度や社会政策を学んで帰国。内務省衛生局長に抜擢されました。優れた政策と実行力を認められた新平は、公衆衛生行政にとどまらず、やがて政治家として活躍の舞台を広げていきました。

記念館では「後藤の大風呂敷」ともいわれた、東京市長時代の近代化大事業計画の資料をはじめ、膨大な資料を収蔵しています。関東大震災直後、帝都復興院総裁として手掛けた復興計画は、現在でも東京都の都市づくりの原型に生かされているといわれ、興味深い資料の1つです。また豊富に残された資料からは、多くの功績の陰に隠れた、新平の意外な人柄も見えてきます。生涯150年に当たることは、「生誕祭」「記念シンポジウム」なども計画されています。

◆開館時間 午前9時〜午後4時半
◆休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始
◆入館料 一般・大学生200円(15人以上の団体の場合は100円)、高校生以下無料
◆問い合わせ 後藤新平記念館(☎7870)へ

◆休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始
◆入館料 一般・大学生200円(15人以上の団体の場合は100円)、高校生以下無料
◆問い合わせ 後藤新平記念館(☎7870)へ

おかげ様でリベストは平成17年度奥州市・金ヶ崎町、住宅着工棟数No.1

リビング通信社発行「岩手住宅月報」より

LIVE・BEST・いい住まい

モデルハウス
好評公開中



江刺区愛宕展示場

ゼロエネルギーへの挑戦が始まる!

夏は涼しく・冬は暖かいオール電化住宅 [晴HARUKA香]

リベストの家は自由設計・注文住宅・フル装備

●宅地建物取引業/岩手県知事免許(4)第1829号 ●建設業/岩手県知事許可 9445号 ●一級建築士事務所/岩手県知事登録 第1641号

リベスト TEL 0197-35-7135

[本社] 奥州市江刺区愛宕字橋本243 FAX.0197-35-6310

ホームページURL <http://www.live-best.co.jp>

R100

※この広報紙は古紙100%の再生紙です。印刷インキは大豆油(植物油)を使用しています。
※「おれい」は、奥州市のホームページでもご覧いただけます。本紙1部の印刷費用は約43.2円です。

PRINTED WITH SOY INK

No. 13(2007.3)=32